

プレスリリース

2026年2月12日

報道関係各位

ニッタ株式会社
代表取締役社長 北村精一

奈良工場におけるコーチェネレーションシステム更新
および火入れ式の実施について

ニッタ株式会社（大阪府大阪市、代表取締役社長 北村精一）は、奈良工場（奈良県大和郡山市）において、エネルギー使用の高効率化と温室効果ガス排出量の削減を目的に、コーチェネレーションシステムの更新を実施しました。この度、更新工事の完了に伴い2026年2月5日(木)に火入れ式を執り行いましたので、お知らせいたします。

記

当社は、持続可能な社会の実現に向け、エネルギー使用量の削減や環境負荷の低減に積極的に取り組んでいます。奈良工場ではエネルギー消費状況に基づき最適な発電能力を確保することで、省エネルギー化とCO₂排出量削減を図るとともに、災害時を見据えた電力供給体制の強化を目的に、本設備の更新を行いました。

コーチェネレーションシステムは、都市ガス等を燃料に発電を行い、発電時に生じる排熱を蒸気や温水として有効活用するエネルギー供給システムです。電気と熱を同時に利用することで高いエネルギー効率を実現し、環境負荷低減、電力ピークの緩和、さらには非常時におけるエネルギー確保に寄与します。

今回の更新により、工場全体のエネルギー運用効率の向上、環境負荷のさらなる低減に加え、気候変動リスクや自然災害への対応力（レジリエンス）の強化が期待されます。



コーチェネレーションシステム（発電容量：1,000kW、850kW）

2026年2月5日(木)、更新工事の完了にあたり、奈良工場構内にて火入れ式を執り行い、新設備の安全かつ安定的な稼働を祈願しました。火入れ式の実施を経て、本設備は本格稼働を開始しています。



北村社長あいさつ



テープカット

設備起動ボタン押下

当社は今後も、エネルギー効率向上および温室効果ガス排出量削減の取り組みを継続し、事業の持続性とレジリエンスの向上を進めることで、ESG経営を一層推進してまいります。

以上

広報に関するお問い合わせ

ニッタ株式会社 経営戦略室 TEL: 06-6563-1228

プレスリリースの内容は発表時のものです。

最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。